

(仮称)伊勢原市第6次総合計画基本構想骨子案のパブリックコメントの結果について

伊勢原市パブリックコメント実施要綱に基づき、(仮称)伊勢原市第6次総合計画基本構想骨子案について、パブリックコメントを実施しました。

1 パブリックコメントの概要

(1) 実施期間

令和4年5月15日(日)から6月14日(火)まで

(2) 周知方法

広報いせはら5月15日号・新総合計画特集号、市ホームページ、いせはらくらし安心メール、SNS(フェイスブック、ツイッター、LINE)

(3) 閲覧場所

市ホームページ、市役所1階ロビー、市内公民館、市立図書館、市民活動サポートセンター、経営企画課

(4) 提出意見数

42件(17人)

2 意見の要旨及び市の考え方

【対応区分】A：ご意見を踏まえ、基本構想案に反映するもの(0件)

B：ご意見の趣旨が既に骨子案に反映されているもの(14件)

C：今後、施策や事業の参考とするもの(14件)

D：ご意見として承ったもの(14件)

基本構想骨子案への意見と市の考え方について

No.	該当項目	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
1	基礎的な条件	構想の裏付けになる財政見通しの記載がないため、具体的な財政見通しを記載すべきと考えます。また、財政の見通しが厳しいのであれば、まちづくりの課題の一つにするべきだと考えます。	C	財政見通しについては、今後の基本計画及び実施計画の策定作業の中で検討し、提示する予定です。また、厳しい財政状況が続くことについては、「まちづくりの課題」(7)「つながりの再認識と持続可能な行財政運営の実現」において整理しています。
2	基礎的な条件	本骨子案を実現可能なものとするため、今後、具体的な財源案の提示をお願いします。	C	財政見通しについては、今後の基本計画及び実施計画の策定作業の中で検討し、提示する予定です。
3	基礎的な条件	まちの持っている個性と環境を生かす考え方や施策はありますか。	B	まちの個性を「本市の特性・強み」で整理した上で、それらを活用したまちづくりの考え方を「まちづくりの基本理念」として整理しています。今後の基本計画や実施計画の策定においては、そうしたまちの個性を活用した施策等を検討していきます。
4	基礎的な条件	「今後対応すべきまちづくりの主な課題」の中に農業活動の従事者減少問題と農地の非耕作が増加する問題等を入れる必要があると思います。	B	農業従事者の担い手不足への対応や耕作放棄地対策は重要な課題として認識していますので、基本計画に位置付ける施策への記載を検討していきます。
5	基本構想全般	まちが誕生した時の特徴と、個性及び環境条件の下での「未来のビジョン」についての審議過程と結果を知りたい。	D	過去やまちづくりの過程により得られた本市の特性等については、「本市の特性・強み」で整理しています。また、「未来のビジョン」(本市の総合計画では、「基本構想」)の審議については、庁内策定委員会及び公募市民や外部有識者で構成する総合計画審議会において、現行計画の評価・検証、社会環境変化、市民意見、本市の特性や強みなどを踏まえて検討してきました。
6	基本構想 将来都市像	分野別の未来像案は理解できますが、まちの未来像が理解しにくく、計画の柱が分かりづらい印象があります。	C	本市が目指すまち全体の未来像として、基本構想には「将来都市像」を掲げていきます。また、今後策定を進める基本計画には、分野別の柱となる施策を示していきます。
7	基本構想 まちづくりの 基本理念	パートナーとは誰なのか、把握しにくいと思います。また、普段の市民への説明が不十分で、対策を考えているか。	B	「まちづくりの基本理念」に記載のとおり、市民や地域をはじめ、企業や大学、各種団体等、多様な主体との連携が不可欠ですので、これからも市民参画を得ながらまちづくりを進めていきます。
8	基本構想 まちづくりの 基本理念	国、企業、住民等と連携した取組事例はありますか。また、国、企業、住民、周辺自治体の動向を把握して、計画策定に取り組んでいますか。	B	災害時の協力協定や健康測定会などの防災や健康分野をはじめ、その他多くの分野で企業や大学等との連携事業を実施しています。また、花火大会をはじめ、多くのイベント等で市民団体との協働による事業を展開しています。なお、国・県や近隣自治体の動向、市民の意見等を整理し、策定作業を進めていきます。

基本構想骨子案への意見と市の考え方について

No.	該当項目	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
9	基本構想 基本政策Ⅰ	基本政策Ⅰ 災害や危険から命と暮らしを守る強くしなやかなまちづくり 広域避難所の見直し 当自治会に広域避難場所として指定されている県立伊勢原高等学校には伊勢原北地区大半が避難場所に指定されています。地震等の災害時に当自治会からは約1KMを徒歩で避難するのは健常者でも大変です。まして障がい者やお年寄りの避難は大変困難です。また、北地区全世帯が避難した場合、約8000世帯の収容は不可能と思われる。もう少し近距離の公共施設の使用はできないものか。臨時の避難場所としての公共施設の指定はされているが、一旦避難した後、場所が変わるのであれば、細かく指定したほうが良いのでは？また、近距離の他の広域避難場所に避難しても良いとは伝えられているが、避難者が肩身の狭い思いをすることとなった場合も考えられる。もう少し細かい指定はできないものか。	D	広域避難場所については、大地震等の発生時に自主防災会が選定する緊急(一時)避難場所様子を見た上で、更なる火災の延焼や輻射熱から人命を守るため、空き地としての面積があることなどの条件を満たした場所を指定しているものです。また、被災者が避難生活を送るための広域避難所については、生活や情報通信、医療救護活動、緊急物資の配給等の拠点機能としての役割を發揮できる場所を指定しています。 なお、風水害時においては、自治会が管理・所有する集会施設を避難所に事前登録できる制度を設けています。
10	基本構想 基本政策Ⅱ	基本政策Ⅱの中に、高齢化に伴う独居対策について取り組むことを明記してはどうでしょうか。（ぜひ取り組むべき課題として各自治会で話が出ています。） 地域福祉のネットワークづくりに総括されると思いますが「独居対策」として、高齢者の福祉の諸問題の中心にする必要があると思います。	B	本市においても、高齢者の増加により、独居の高齢者や高齢者のみ世帯が増加しています。御意見をいただきました独居対策については課題として認識し、基本政策Ⅱ「誰もが生涯にわたり、安心して健やかに暮らせるまちづくり」の一環として位置付け、推進していきます。 なお、具体的な施策等については、今後の基本計画及び実施計画を策定する中で検討していきます。
11	基本構想 基本政策Ⅲ	今後高齢化(特に75歳以上)が進む中で若い人達の転入と子供の育てやすい、住みやすい生活環境の確立が必要と考えます。	B	コンパクトで機能的なまちづくりを進め、子ども・若者・高齢者などによる多世代・地域間の交流のほか、観光客などとの多様な交流により、地域コミュニティの維持や都市の活力を生み出すまちづくりに取り組んでいきます。
12	基本構想 基本政策Ⅲ	近隣市から来られた若夫婦数名から、当市は子育て支援の援助が少なく子供を持つ親は住みづらいと聞きました。優先的施策の2番に記載がある子育て支援費を大胆に増やし、住み易いまちを目指して頂きたい。	B	基本政策Ⅲ「子供を産み育てやすく豊かな学びで未来を拓くまちづくり」に位置付けているとおり、結婚・妊娠・出産・子育ての各段階に応じた切れ目のない支援を充実し、子どもを産み育てたいと思えるまちづくりを進めていきます。
13	基本構想 基本政策Ⅲ	子育て福祉の充実 市の人口像に合わせ、若い方が住みやすく、ロコミで自慢できるまちづくりを実施する。	B	生活環境の質の向上や子育て支援の充実とともに、効果的なシティプロモーションにより本市の魅力を発信し、子育て世代の定住促進など、選ばれるまちづくりに取り組みます。 なお、具体的な施策等については、今後の基本計画及び実施計画を策定する中で検討していきます。

基本構想骨子案への意見と市の考え方について

No.	該当項目	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
14	基本構想 基本政策Ⅲ	通学区域の見直し 20数年前に見直されたのち見直しがされていない。学校・家庭・地域の相互の連携を掲げているが、ご近所で通学している小中学校が異なることは家庭相互、子供相互のコミュニケーションにも齟齬をもたらすのではないか。	D	今後の更なる少子化を見据え、小中学校の規模適正化に向けた検討を進める必要があり、あわせて学区の見直しの検討も想定されますが、現時点においては、本格的な検討は行っていません。しかしながら、学区の見直しが検討される場合は、御意見の内容等を踏まえ、多角的な視点により検討していきたいと考えます。
15	基本構想 基本政策Ⅳ	伊勢原の強みである農と自然を生かし、都心に近くて農作業ができるまちとしての政策を進めて欲しい。	C	今後の事業の参考とさせていただきます。
16	基本構想 基本政策Ⅳ	人口減少に対してよい効果があると思いますので、農地とセットで住宅購入ができるなど、伊勢原の人口増や農の充実に取り組んでいただきたいと思います。	C	今後の事業の参考とさせていただきます。
17	基本構想 基本構想Ⅳ	企業活動をはじめとした経済を活性化することが、雇用や消費を生み、人口減少のブレーキにもなり、市の活力にもつながるはず。まちづくりの課題として経済規模縮小等を掲げているのに、Ⅱ基本構想ではそれに対する記述が読み取れない。経済活性化に向けた取組が不足していると思います。	B	経済の活性化については、基本構想Ⅳ「活気にあふれ 地球環境にやさしいまちづくり」において、本市の特性や恵まれた地域資源を活用しながら、産業の活性化や雇用の創出などにより、活力あるまちづくりを推進していくこととしています。なお、具体的な施策等については、今後の基本計画及び実施計画を策定する中で検討していきます。
18	基本構想 基本構想Ⅳ	東京の近郊都市であり、豊かな自然、充実した医療、歴史と伝統のまちである。今後もバランスの取れたコンパクトなまちを持続可能なものとするため、生活維持のための市内店舗の在り方を考える施策が必要と考えます。	C	都市としての利便性が高く、賑わいと魅力ある市街地形成に取り組んでいきます。なお、商店街の活性化については、今後の基本計画及び実施計画を策定する中で検討していきます。
19	基本構想 基本構想Ⅳ	大山帰りの人が休憩所を探している光景を目にするため、商店街の活性化が必要と考えます。	C	商業振興については、今後の基本計画及び実施計画を策定する中で検討していきます。
20	基本構想 基本構想Ⅳ	大型ショッピングモールの誘致や、伊勢原大山インターが開設したことにより交通環境が良くなった各産業はもとより、伊勢原をアピールする為に道の駅の設置や日帰り湯等の建設などが必要と考えます。	D	現在、市内において大型ショッピングモールの建設や道の駅などの設置計画等はありませんが、東名高速道路等の広域交通ネットワークの優位性を生かした持続可能なまちづくりに取り組んでいきます。
21	基本構想 基本構想Ⅳ	市内の商店街のお店のシャッターが下り過ぎで、他県の方や地元の方に悪いイメージを与えているので、何か他の活用方法を考える必要があります。	C	商業振興や空き店舗対策については、今後の基本計画及び実施計画を策定する中で検討していきます。
22	基本構想 基本構想Ⅳ	早期に伊勢原駅周辺に、市の観光みやげ店を作りあげ、足湯や、歴史文化の会館を完成すること。	C	伊勢原駅周辺については、利便性が高く、賑わいと魅力ある中心市街地形成に取り組んでいきます。
23	基本構想 基本構想Ⅳ	観光事業も、鉄道、バス等の観光事業者とより連携を強くし、東京都内はもちろん、静岡県等の近隣県に呼びかけていく。	C	新東名高速道路伊勢原大山インターの開設や圏央道の開通効果を生かした観光振興を促進するため、県内外からの誘客に取り組むとともに、鉄道やバス等の公共交通事業者と連携した取組を推進していきたいと考えます。

基本構想骨子案への意見と市の考え方について

No.	該当項目	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
24	基本構想 基本政策V	行政センター地区周辺の慢性的な渋滞緩和、高部屋小学校周辺の児童・生徒の交通安全の確保、西富岡バイパスの開通等、道路整備の推進を第一として欲しいです。	B	道路整備関連施策については、基本政策V「都市基盤が整った快適で暮らしやすいまちづくり」に位置付け、推進していきます。なお、具体的な施策等については、今後の基本計画及び実施計画を策定する中で検討していきます。
25	基本構想 基本政策V	ベランダが川に面しており、年中蚊が大量発生しているため、団地とマンションの間にある川に蓋をして欲しいです。 小さい子供もいるため、早急に蚊の発生に対する対応をお願いしたいです。	D	御意見として承ります。 なお、蚊の発生への対応については、担当課に連絡済みです。
26	基本構想 基本政策V	大山を望む眺望など、今後も伊勢原の魅力を維持していくためにも、駅前再開発事業について、住民に意見を求めるべきだと考えます。 また、必要な工事なのでしょうか。	B	伊勢原駅北口周辺は、市の玄関口にふさわしい活力と魅力を創出することが求められています。市では、街路や駅前広場などの交通結節点機能の向上により、中心市街地として利便性の高い交流拠点の形成を図ることとしています。
27	基本構想 基本政策V	自動車免許証を返上した場合はタクシー券の支給や乗車券パスポートの発行など、一部負担金程度で利用できる方法を考慮していただけたらと思います。	C	更なる高齢化に伴い自動車免許証を返納する方が増え、公共交通に対する需要は高まると考えられますので、そうした方々に対する支援の方法について、今後研究していきたいと考えます。
28	基本構想 基本政策V	駅と市内各地を循環するコミュニティバスを運行して欲しいです。	D	御意見として承ります。
29	基本構想 基本政策V	優先的課題領域の被害を最小限に抑える減災対策の推進が基本政策に盛り込まれていない。災害が起きてからの対策が基本で未然に防ぐ施策がない。 身近な所で河川改修。豪雨に備えて調整池の見直し。 現状の基準では最近の豪雨に対応していない。	B	本市における近年の台風や豪雨の経験を課題と捉え、災害に強いまちづくりに向け、基本政策V「都市基盤が整った快適で暮らしやすいまちづくり」に位置付け、推進していきます。なお、具体的な施策等については、今後の基本計画及び実施計画を策定する中で検討していきます。
30	基本構想 基本政策VI	再編・集約の対象となる公共施設は、国県の施設を含みますか。また、含んでいる場合は、種地の先行取得等を検討していますか。	D	公共施設の再編集約の対象は、県などから借用している施設を含む市の施設となります。本年度改訂を予定している公共施設等総合管理計画など、関連する個別計画と整合を図りながら検討していきます。
31	基本構想 基本政策VI	公共施設の建て直しや見直しの必要が出た場合は、市民に対してアンケート等による市民参画の機会を提供して欲しいです。	C	必要に応じて、地元説明会や市民アンケート、利用者アンケートなどを行いながら進めていきたいと考えます。
32	基本構想 基本政策VI	各公共施設の1カ所でもいいので、多目的トイレを設置して欲しいです。	B	ユニバーサルデザイン化の推進が求められていることを踏まえ、引き続き順次、多目的トイレ等の整備を進めていきます。
33	基本構想 基本政策VI	スーパーシティ法案を伊勢原市に適用しないで欲しい。	D	御意見として承ります。

基本構想骨子案への意見と市の考え方について

No.	該当項目	意見・提案等の内容（要旨）	区分	市の考え方
34	基本構想 基本政策VI	施設の維持管理の件 利用率の低い施設の廃止を含め早急に検討する課題だ と思います。なお、施設の有料化時の様な地域の事前 説明会はやらず決定の事後説明でよいと思います。 (但し自治会の予算に関わる件は事前説明が必要と思 います。)	B	今後の人口減少を見据えた「公共施設等総合管理計画」の改訂と の整合を図りながら、集約化・適正配置など、公共施設の縮充の 取組を進めていきます。
35	その他の意見	現行計画の取組に対する効果検証がないと、提案され た内容の妥当性が判断できないと思います。	C	現行の総合計画については、基本計画に位置付ける施策の成果を 明らかにするため、市民意識調査等による市民意見を踏まえなが ら、施策を構成する事務事業の評価に加え、職員による内部評価 を行うとともに、その客観性及び透明性を担保するため、公募市 民をはじめとする外部有識者による評価を実施してきました。な お、今回の骨子案では、こうした評価・検証の結果を踏まえて課 題を整理し、基本政策を示しています。
36	その他の意見	現行計画との関連性や住民の生活実態等を反映した生 の声が見えにくいと思います。	C	これまで行ってきた現行総合計画の評価・検証や、市民意識調査 やワークショップなどの様々な市民意見の結果を踏まえ、課題を 整理して基本政策を示しています。なお、こうした経過は、計画 書として取りまとめる際に情報として記載します。
37	その他の意見	計画策定に向けて、初心者向けの説明会、自由参加型 対話と研究の広場作り、市長又は担当部長への要望、 年1の市民向け市政報告会、トップビジョン探しでの 会創りの5つを提案します。	D	御意見として承ります。
38	その他の意見	明石市のような市政にして欲しいです。	D	明石市に限らず、先進自治体の施策等を参考にしながら、策定作 業を進めていきます。
39	その他の意見	オーガニック食品のまち、有機無農薬食品のまちを目 指すべきと考えます。特に、学校給食において、健康 に良い影響を与える有機無農薬食品を使用することを 提案します。	D	御意見として承ります。
40	その他の意見	伊勢原では、ゲノム編集食品の禁止、あるいは表示義 務の徹底を進めていただきたいと思います。	D	御意見として承ります。
41	その他の意見	伊勢原で種子保全の政策を進めて欲しい。	D	御意見として承ります。
42	その他の意見	今後の本格的な人口減少を見据え、秦野市との合併な どは検討されていますか。	D	現在、近隣自治体との合併は検討していません。